

高美小学校授業だより

R7.4.23.

4年1組の算数(一億をこえる数)の授業におじゃましました。

★「今日は体を動かすよ！」★

チャイムが鳴ると同時に号令がかかり、算数の授業が始まりました。子どもたちはいつも通り、ノートの用意をしようとしています。…が！！「今日は体を動かすよ！」松岡先生の指示に従い、わくわくと戸惑いが入り混じったような表情で机を後ろに下げる子どもたち。いったい何が始まるんだろう…。



★位の部屋★

いつもの授業で使っている位の表より、ずいぶん大きなものが出てきました。数人の子どもたちが呼ばれ、手には何やら紙を持たされています。一番左端の児童は数字の「3」を。それ以外の児童は「0」をもって並びました。「数字の皆さん！10倍！」と指示が出ると、子どもたちは一斉に、向かって左に一つずれました。空いてしまった一の位には、新たに児童が呼ばれ、入りました。「もう一回10倍！」「今度は100倍！」どんどん数字を持った児童が前に並んでいきます。



楽しむのと同時に、いくつかのポイントをおさえていました。

- ① ひとつの部屋には入れるのは4人。万がいっぱいになったら億、億がいっぱいになったら兆、と足りなくなったら次の位を増やす。
- ② 10倍したらあらたに一人、100倍したら二人必要。
- ③ 数を読むときは1～9の数字だけ。0は読まない。



★めあてをたてる★

活動をしながら、「3000万」を10倍しても、万の位の部屋に入れるのは4人だから「30000万」にはならないことを、時間をかけて確認しました。活動を終えて、練習問題に移るときに「今日は〇万万にならないように気をつけよう」というめあてを確認されていました。子どもたちにとって、さっきの活動で体験した言葉だったので、イメージしやすかったのではと思います。

～まとめ～

つい作業のようになってしまいがちな問題練習の時間でも、導入に子どもたちをぐっとひきつけるような仕掛けがあると、そのあと問題に取り組む気持ちが高まるように感じました。楽しい活動の中でも、「ただ楽しい」で終わるのではなく、大切なことを子どもたちの言葉をひろいながらまとめ、本時のめあてにするとする方法もあるんですね！勉強になりました。松岡先生、4年1組のみなさん、ありがとうございました。